

Istanbul Weekly vol.6-no.19

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2017年5月18日（木）

— 今週のポイント —

- 政治**：エルドアン大統領、「一帯一路」国際フォーラム出席、習国家主席と会談。
エルドアン大統領が訪米、トランプ米大統領と首脳会談を実施。
- 経済**：EU、2017、18年のトルコの経済成長率予測を僅かに上方修正。
第13回国際防衛産業フェア（IDEF）が開催：国防次官「強い防衛産業確立」へ。
- 治安**：ボスポラス海峡を通過するロシア軍艦に対するISILの攻撃を警戒。
日本人女性に対する結婚詐欺でトルコ人男性に賠償金支払命令。
- 軍事**：トルコが国産ミサイル「カーン」の発射実験に成功。
- 社会**：歴史的建造物エルグヴァン色（ピンク）に染まる。
タクシム広場でラマダンと催事に向けた準備が始まる。

政治

【内政】

●**国会、裁判官・検察官委員会の委員7名を選出**
国会は16日、先般の国民投票の可決を受けて、裁判官・検察官の罷免権を持つ裁判官・検察官委員会（全13名）の国家選出枠の7名を選出した。CHPとHDPは、司法の独立が脅かされているとして選出プロセスをボイコットし、AKP寄りの「偏った人事」がなされていると批判した。（5月17日付C紙インターネット版）

【外交】

●**ユルドゥルム首相がソマリア支援会議出席のため訪英**
11日、ユルドゥルム首相は、英国で開催されたソマリア支援会議に出席した。同首相は、トルコとしてのソマリア及びアフリカの角に対するこれまでの支援実績を強調しつつ、干ばつ、テロ対策を含め、支援の取り組みを一層強化すると述べた。（5月13日付M紙インターネット版）

●**エルドアン大統領、「一帯一路」国際フォーラム出席、習国家主席と会談**

15日、北京で開催された「一帯一路」国際フォーラム出席のため訪中したエルドアン大統領は、習近平国家主席との間で首脳会談を行った。45分間にわたり行われた同会談では、エルドアン大統領がトルコの「中央回廊構想」と中国の構想は合致するとして、両首脳は両国間の「戦略的協力関係」を一層強化していくことで一致した他、FETOとの闘いに対する中国への支援要請、2018年を「トルコ・中国年」とすること等も協議された。（5月16日付S紙インターネット版）

●**エルドアン大統領が訪米、トランプ米大統領と首脳会談を実施**

16日、エルドアン大統領は訪米し、トランプ米大統領との間で初の首脳会談を実施した。会談後の記者会見でエルドアン大統領は、トルコと米国の関係強化は、世界の平和と

安定にとって重要であると強調し、今回の訪米は「歴史的な転換点」であると述べた。更に同大統領は、シリアにおいてYPG/PYGに武器を供与するとの米政権の決定に関し「この地域で、YPG/PYGの存在を考慮することは決して受け入れられない」とけん制したのに対し、トランプ大統領は、シリアでのトルコのリーダーシップに感謝すると述べる一方で、この点について具体的な言及を避けた。また、エルドアン大統領は、フェトフラー・ギュレン運動に関する「トルコの期待を伝えた」と述べた。（5月17日付H紙1面）

経済

【マクロ経済】

●**EU、2017、18年のトルコの経済成長率予測を僅かに上方修正**

EUは、高いインフレ率及びトルコ国内外の金融リスクに懸念を示しつつ、トルコの2017年の経済成長率予測を2.8%から3.1パーセントに、2018年の同予測を3.2%から3.3%にそれぞれ上方修正した。EUは、2017年の第一四半期のトルコリラの下落やエネルギー価格の上昇等で高いインフレ率が予測された一方で、財政力、不確実性の減少、人口増加と平均年齢の若さ、貿易収支でバランスが取れている中でリラの下落があったこと等のトルコ経済のポジティブな側面も強調した。（5月12日付HDN紙10面）

●**トルコの負債、減少**

11日、トルコ中央銀行は、トルコの負債は3月に対前年同月比6億6千6百万ドル減少し、31億ドルとなったと発表した。製造業での7億9千3百万ドルの負債減少が影響した。（5月12日付HDN紙10面）

●**第13回国際防衛産業フェア（IDEF）が開催：国防次官「強い防衛産業確立へ」**

イスタンブールで開催されている第13回国際防衛産業フ

エア (IDEF) において 11 日、国防次官は、トルコの防衛産業について、特に自国の防衛産業を力強く確立する必要があると述べつつ昨年のトルコの防衛産業の輸出は 17 億ドルに留まり、トルコ建国 100 周年に当たる 2023 年に防衛産業の輸出が 250 億ドルを達成することが困難になっていることを認めた。(5 月 12 日付 HDN 紙インターネット版)

●ロールス・ロイス社、トルコの防衛産業及び原子力産業に注力

英国大手ロールス・ロイス社の代表は、トルコの防衛産業及び民間用原子力産業に焦点を当てて事業を行っていくと述べた。同社のトルコ・中央アジア地域担当ディレクターのパトリック・レジス氏は、トルコに関する現在の主要プロジェクトである先進的な戦闘機 TF-X プロジェクトに続き、小型モジュラー型原子炉 (SMRS) 計画を進めたいと述べた。(5 月 17 日付 HDN 紙 10 面)

●習近平、「一帯一路」サミットで 1240 億ドルの出資を約束

エルドアン大統領も参加して中国・北京で開催された 14 日「一帯一路」国際協力サミットフォーラムで、習近平中国国家主席は、平和、包括性、自由貿易の道を築く野心的なシルクロード計画のために、1240 億ドルの出資を約束し、競争と外交力によるゲームといった古いモデルの放棄を求めた。習近平が 2013 年にこの計画を発表して以来、中国はアジア、アフリカ、ヨーロッパ及び数十億ドルのインフラ投資に支えられる地域間の連携を拡大することを目指し、ベルト・アンド・ロード・イニシアティブを公式に世界開発の促進に関する新しい方法として売り込んできた。(5 月 15 日付 HDN 紙 11 面)

●トルコ政府、1-4 月に 179 億トルコ・リラの財政赤字を計上

アーバル財務相は、1-4 月の財政赤字が 179 億トルコリラ (約 50 億ドル) となり、昨年同期を上回ったことに関し、景気対策の支出が主要因であるとした。一方で同相は、4 月単月の税収は対前年同月比 14.3% 増となり、生産、消費、経済活動が回復基調にあることを示していると述べた。(5 月 15 日付 HDN 紙 11 面)

●トルコのセメント輸出、対前年比 10% 増を目標

16 日、トルコ輸出組合のセメント委員会のアリ・オズイヌ委員長は、2017 年にセメントの輸出量を対前年比 10% 増の 1300 万トンにすることを目標としていると述べた。また、2000 万トンのセメントを輸出していた 2008 年に比べて減少はしているものの、昨年は 1150 万トン (6 億ドル相当) を輸出し、対前年比 7% 増加したと述べた。(5 月 17 日付 HDN 紙 11 面)

【金融政策】

●政府、両替所の規制強化へ

シムシェッキ副首相は、市中の両替所に対する効果的な監視ができていないとして、今後は効果的に検査を実施すると述べた。また、両替所は A グループ (キャッシュによる両替に加え、ATM、インターネット等による取引が可能となる) と、B グループ (キャッシュのみの両替) に分類され、業務範囲の広い A グループの両替所については、企業・個人を問わず取引に係る新たな義務が課されると述べた。(5 月 15 日付 HDN 紙 10 面、同日付 HT 紙 6 面)

【観光】

●ゼイベギジ経済相：booking.com のトルコ国内における営業禁止を協議

ゼイベギジ経済相は、booking.com がトルコにおいて法令

を遵守した活動を行い、フル稼働するための必要な協議を行っている」と述べた。また、booking.com は、イスタンブール裁判所によって不当競争を理由にトルコでのウェブ上の営業の一時差し止め処分が命じられている。(5 月 14 日付 HDN 紙インターネット版)

【エネルギー】

●アラスヤ・アトックス社、産業排水汚泥で電気生産するプラントを建設

アラスヤ・アトックス社は、外国投資ファンドと共同で、トルコ国内の産業排水・汚泥から 120 万トンの電力を生産する計画を発表した。西部のテキルダールから東部のマラティアまでに至る 12 都市で、それぞれ 4 メガワットを生産する太陽活性汚泥乾燥プラントを建設する。すでに南西部のデニズリ県の工場は稼働。ギュルダムラ同社長は、排水・汚泥を燃焼させて電気を生産し、セメント工場ではその灰を原料として再利用するため、環境と経済の両面で利益が得られるだろうと述べた。(5 月 17 日付 HDN 紙 11 面)

治安

【PKK 関係】

●軍がギュヴェン山の軍基地に侵入しようとした PKK 戦闘員を空爆

13 日、軍は、ハッカリ県において北イラクから同県ギュヴェン山の国軍基地敷地内に侵入しようとした PKK 戦闘員 7 名を空爆により殺害した。1 月から現在までの間、ハッカリ県で死亡した PKK 戦闘員は 166 名に上る。

また、同日、ハタイ県では、治安機関と PKK による戦闘が発生し、兵士 1 名が死亡、警察官、兵士各 1 名が負傷している。(5 月 13 日付 HDN インターネット版)

●ディヤルバクル県の空軍基地前で爆発物を処理

15 日、ディヤルバクル県にある第 8 空軍基地の門兵が、基地に入ろうとした気象局所有のシャトルバスを検査していたところ、硝酸アンモニウムと釘を発見し、処理した。発見された爆発物は攻撃用ではなく、起爆用のものであった。なお、同空軍基地は、南東部における対 PKK オペレーションで重要な役割を果たしている。(5 月 15 日付 HDN インターネット版)



(写真は、5 月 15 日付 HDN インターネット版より)

●トラブゾン県における PKK との衝突で兵士 1 名が死亡

15 日、トラブゾン県マチュカ区において同県ジャンダルマ司令部が捜索活動に従事していたところ、PKK との間で武力衝突が発生し、兵士 1 名が死亡した。(5 月 16 日付 HDN インターネット版)

【DHKP/C 関係】

●ジャンダルマが DHKP/C 戦闘員 4 名を拘束

15 日、ジャンダルマは、エディルネ県の国境付近でトラックの荷台にいた DHKP/C 戦闘員 4 名を拘束した。同 4 名は、イスタンブール裁判所から国外渡航禁止の処分を受けて

いたが、国外に逃亡しようとしていた。(5月16日付 HDN インターネット版)

【ISIL 関係】

●トルコが ISIL トップリクルーターの身柄引渡しで豪政府と合意

12日、政府は、豪政府の要請を受けて、メルボルン出身の ISIL トップリクルーターのネイル・プラカシュの身柄引渡しに合意した。オーストラリア政府によると、同人は、豪を拠点とする攻撃計画に関係しており、ISIL のビデオや機関誌に登場してオーストラリア人に対するテロの扇動を行っていた。豪政府は、昨年、米国の情報に基づいてプラカシュがイラク・モスルでの空爆で死亡したと発表したものの、その後、同人が生存しており、トルコで拘束されていたことを確認していた(5月12日付 HDN 紙インターネット版)

●ボスポラス海峡を通過するロシア軍艦に対する ISIL の攻撃を警戒

イスタンブール当局は、ISIL がミサイルまたは長距離射程の武器によりボスポラス海峡を通過するロシア軍艦を攻撃する可能性があるとの情報を得たため、同海峡兩岸 146 か所のミサイル発射可能ポイントを選定し、警備措置を講じている。また、ロシア軍艦にヘリコプター2機と攻撃艇2隻の護衛を付けている。(5月16日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、5月16日付 HDN 紙インターネット版より)

●レイナ事件のキーマンをイスタンブールで拘束

17日、警察は、1月1日にイスタンブールで発生したレイナ事件のキーマンとされる ISIL メンバー・ハサン・グロモフ(別名: アブ・ハリク)をバシャクシェヒル区で拘束し、カラシニコフ 12 丁、現金 4,378 米ドル、3,000 スウェーデン・クローネを押収した。グロモフは、レイナ事件の実行犯であるマシャリポフと ISIL 内の同じセルにいたとされており、ハタイ県から偽造旅券を使用してトルコに入国していた。レイナ事件の起訴状により、同事件の関連捜査で拘束されたジェリル・チェリッキが別の攻撃を計画していたことが明らかにされたが、同人と同居していた4名は逃走している。(5月17日付 HDN インターネット版)



(写真は、5月17日付 HDN インターネット版より)

【FETO 関係】

●マレーシア当局が FETO 関係者 3 名をアンカラへ強制送還

12日、マレーシア当局は、国家の安全保障を脅かしたとして拘束していたトゥルガイ・カラマン、イーサン・アスラン、及びイスメット・オズチェリクをトルコへ強制送還した。トルコ当局は、物流の拠点、避難場所、資金調達、国内外に対する攻撃の拠点として、マレーシアを利用しているグループの監視を今後も続けると述べた。(5月12日付 HDN 紙インターネット版)

●クーデター未遂事件当日にエルドアン大統領の身柄確保を任務としていた3名を逮捕

16日、エディルネ県でギュレン派の特殊部隊員3名が逮捕された。同3名は、事件の5日前にクーデター計画を知らされ、イスタンブールのフベル大統領官邸でエルドアン大統領の身柄を確保してサマンドゥラ官邸へ行き、マルマ海で船に乗る予定であったが、大統領が休暇でマルマリスにいたことが判明したため、アンカラのアクンジュ空軍基地に転進したと証言している。(5月16日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、5月16日付 HDN インターネット版より)

【その他】

●警察が売春組織に対する大規模オペレーションを実施

12日、治安当局は、全国13県で売春取締りのオペレーションを行い、犯罪組織の構成と組織的売春の容疑でブローカーや女性の計53名を拘束した。警察はさらに、同組織の幹部4名と売春に携わった女性674名の行方を追っている。(5月12日付 HDN インターネット版)



(写真は、5月12日付 HDN インターネット版より)

●「母の日」のツアーバスが横転し、24名が死亡

13日、イズミール県ブジャからマルマリスへ向けて走行していたバスが制御不能の状態に陥って崖から転落し、24名が死亡、13名が重傷を負った。アミール・チチェック・ムラ県知事は、「バスの中に外国人観光客はいなかった。事故原因は、ブレーキの故障と見られるが、詳細は捜査中である」と述べた。乗客は、マルマリスで開催される「母の日」のイベントに参加する予定であった。(5月13日付 HDN インターネット版)



(写真は、5月13日付 HDN インターネット版より)

●日本人女性に対する結婚詐欺でトルコ人男性に賠償金支払命令

15日、イスタンブール裁判所は、日本人女性に結婚詐欺をはたらいたトルコ人男性ムスタファに賠償金16万452米ドルの支払いを命じた。同日本人女性は、2013年にイスタンブールを訪れた際にムスタファと出会い、結婚できると信じて金を貸していた。ムスタファは、「出会った時に自分が既婚者であると話しており、結婚の約束はしていない。彼女の嫉妬が金銭的問題となった。返済はするが、今はその能力がない」と述べている。ツイッターでは、複数の日本人女性がムスタファに対する注意を呼び掛けていた。(5月15日付 HDN インターネット版)

●イスタンブールでシリア・アフガニスタン移民と地元住民が衝突

14日、シリアとアフガニスタンからの移民が、イスタンブール市イスマットパシャ地区で女性に嫌がらせをしたことが発端となり、地元住民との間で喧嘩となり、24歳の地元男性が刺殺された。15日、アフガニスタン人移民がファティフ区で集団に襲われるとともに、地元男性の殺害に抗議するデモが行われたため、警察が放水銃と催涙ガスによって鎮圧した。(5月15日付 HDN インターネット版)

●軍が各地で不法出入国者を拘束

軍は、14日、シリアからの不法入国者1,090名の入国を阻止したと発表した。

また、トルコからギリシャに渡ろうとした29名、トルコからブルガリアに入国しようとした10名、イラクからトルコに入国しようとした14名も合わせて拘束された。(5月15日付 HDN インターネット版)

軍事

●トランプ米大統領の YPG に対する武器供与決定を受けたユルドゥルム首相の反応

12日、ユルドゥルム首相は、トランプ大統領の YPG への武器供与の決定を受けて、訪問中のロンドンで「米国から、シリア・ラッカを ISIL から奪取した後、YPG が同地域に留まることはない」と聞いている。米国の YPG に対する武器供与の決定は、NATO 同盟国の2国間の関係を損なうだろう。」との懸念を述べた。(5月12日付 HDN インターネット版)

●トルコが国産ミサイル「カーン」の発射実験に成功

11日、トルコは、シノップ県で初の国産ミサイル「カーン」の発射試験を成功させた。同ミサイルは、直径が610ミリ、射程280キロメートル、弾頭が470キログラムで、ロケットサン社によって開発された。また、トルコの大手防衛企

業アセルサンは、国防相と1億2,500万ドルでM60T戦車を改良する契約を締結した。同社によると、同戦車は2018年までに納品されることになっている。(5月11日付 HDN インターネット版)

●メルケル独首相がトルコの独軍兵士を国外へ移す可能性について言及

メルケル独首相は、トルコがインジリック空軍基地の NATO ミッションに従事する関係者への独国会防衛委員会の訪問を許可しないのであれば、独軍をトルコから引き揚げ、ヨルダン等の他の国に移す可能性がある」と述べた。(5月15日付 HDN インターネット版)

社会

●歴史的建造物、エルグヴァン色（ピンク）に染まる

「イスタンブール・エルグヴァン・シーズン」の催しの一環としてガラタ塔、ベヤズット火の見塔、トプハネ噴水、アフメット噴水などイスタンブールのシンボリックな歴史建造物が5月26日までエルグヴァンの花の色と同じピンク色にライトアップされる。(エルグヴァン：セイヨウハナズオウ：4月下旬から5月上旬にかけて開花する落葉灌木でイスタンブールのシンボリックの花の一つとされる)(5月12日付 HT 紙 20面他)

●アヤソフィア、47万3千回タグを付けされる

オランダの旅行会社トラベル・バードがインスタグラムでシェア回数が多い世界中の観光スポットをリスト・アップした結果、アヤソフィアが47万3千回シェアされ、43位にランクした。1位は米国カリフォルニア州のディズニー・ランド、2位がパリのエッフェル塔であった。(5月12日付 H 紙 40面他)

●ボスポラス海峡でヨット・レース

今年で16回目を数えるヨット・レース「トウルクセル・ブラチナ・ボスポラス・カップ」が5月11-14日にボスポラス海峡で開催された。ベシクタシ区にあるバフチェシヒル大学沖からスタートを切った約100隻のヨットはチュラーン・パレス前のゴールを目指して熱戦を繰り広げた(5月15日付 HT 紙 20面他)

●タクシム広場でラマダン期間中の様々なイベントに向けた準備が始まる

ベイオール区は、タクシム広場に様々なイベントに活用できるスタンドの設置を始めた。ラマダン期間中には、断食明けの食事を提供するテントも設置される。また、アンティーク商品や手工芸品などの様々なスタンドも今月末までに設置され、6月にはイベントなどに活用される。(5月16日付 HT 紙 22面他)

●若者は将来に悲観的—生活実態調査

生活実態調査協会が「トルコの若者実像」というテーマで16の地域で18-29歳の1209人を対象に行ったアンケートの結果、若者の3人に1人は、将来に対して悲観的であることが明らかになった。生活満足度については、女性で10%、男性で14%が現在の生活に「満足していない」と回答し、男女共通で16%が「あまり満足していない」と回答。また、「将来に希望が持てる」と回答したのは、女性で68%、男性で65%となった。この内77%が学生で、「希望が持てない」と回答した若者の内、50%が現在無職で求職中の若者であった。(5月17日付 H 紙 6面他)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OİB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公社
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
işİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜVİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞	英字新聞		通信社		
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Gihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2017.5.5～2017.5.17 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2016年		7件		2件		24件		2件
2017年	0件	2件	0件	0件	0件	4件	0件	0件

- 今週は、被害の届け出はありませんでした。
- ★当館 HP 更新のお知らせ★
- 公的年金の受給資格期間短縮について(05/16) NEW
- 領事出張サービス(イズミル)のお知らせ(05/12) NEW
- トルコ:安全対策基礎データの改訂(05/11) NEW
- 平成29年度後期用教科書の取り纏めについて(05/04)